



桑名普及センター
LINE公式アカウント
配信中！

水田たより 6月号

令和3年6月1日
JA みえきた
桑名地域農業改良普及センター

水稲の栽培管理

現時点で水稲の生育は、積算気温は平年並みなものの、平年と比較して積算降水量が多く、積算日照時間が少ないため、分げつが少なく、徒長気味となっています。

観測史上2番目の早さで梅雨入りしており、今後、いもち病の発生が懸念されています（詳しい対策は令和3年5月号をご参照ください）。

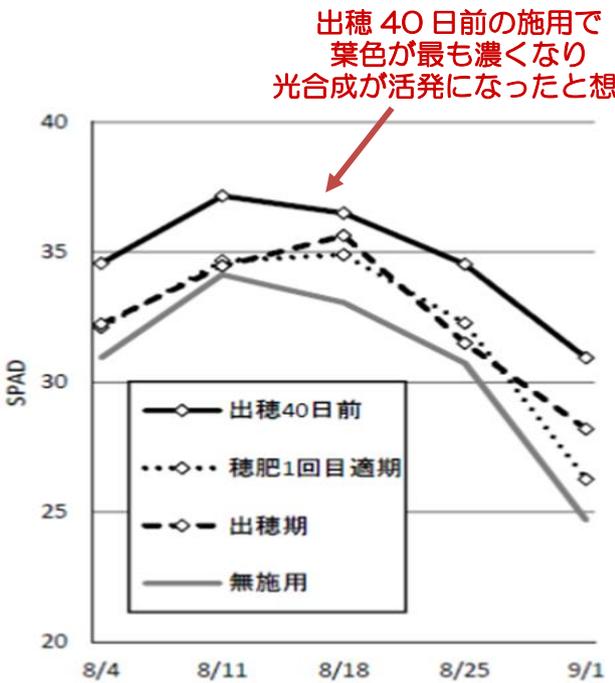
■ 気象概況（令和3年4月1日から5月30日までの平年比）
積算気温：99% 積算降水量：144% 積算日照量：85%

＜1か月予報＞
5月29日から6月28日
名古屋地方気象台
令和3年5月27日発表
気温：高い
降水量：ほぼ平年並み
日照時間：ほぼ平年並み

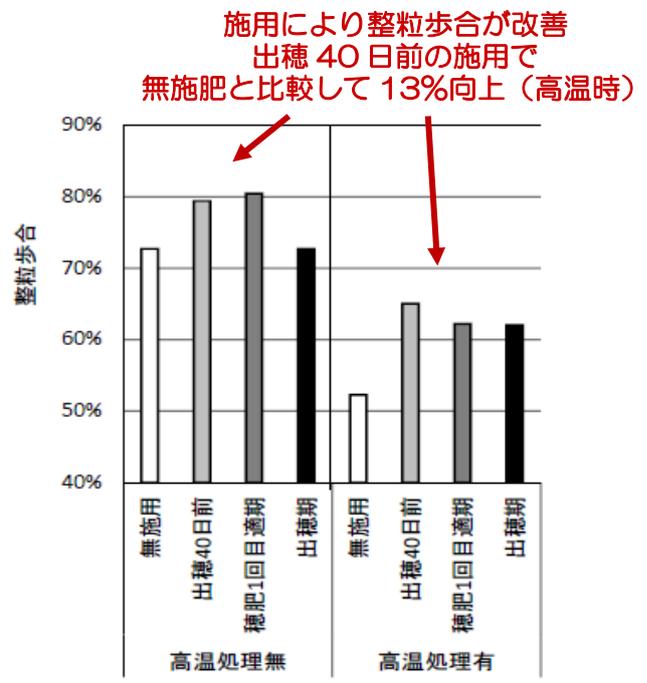
■ ケイ酸資材の効果

米の品質向上のために、「ケイ酸資材」を追肥として施用しましょう。

ケイ酸を多く吸収した稲は光合成が活発化して栄養状態が良くなるので、病虫害対策や倒伏軽減につながり、収量増加や品質向上の効果が期待できます。



ケイ酸追肥時期別の登熟期 SPAD の推移 (H26)



ケイ酸追肥時期別の整粒歩合 (H26, H27)

＜出典＞新潟県農業総合研究所

■ ケイ酸資材の施用例

追肥による施用は、**出穂40日前頃（中干し前後）、ケイ酸量で10kg/10a程度**が効果的です。

資材名	施用時期・方法	施用量(kg/10a)
けい酸加里プレミア 34	出穂45～35日前 (中干し前後)に全面散布	20～40

大豆の収量と収入

適期管理で大きく収入向上！

■大豆の収入試算について

水田で大豆を生産する場合、大きくわけて①生産物収入、②畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）による収入があります。今回は、大豆による収入の試算をおこない、桑名管内の生産者の皆さまには大豆作によって得られる収入についてご確認いただきたいと思います。

大豆作による
収入



大豆自体の
①品代



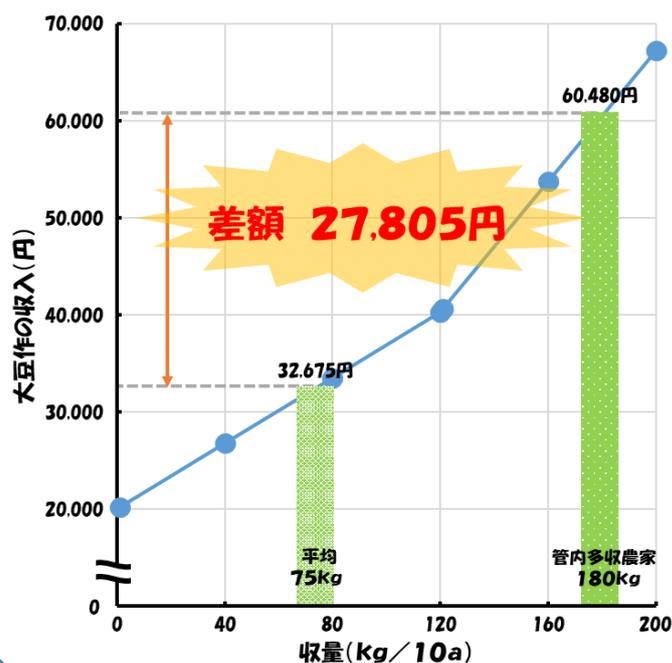
ゲタ対策による
②数量払、面積払

- ① 生産物収入（令和元年産1等大豆の農協精算実績）
10,140 円/60kg
- ② 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）
数量払：10,020 円/60kg
（令和元年、1等の場合）
面積払：20,000 円/10a

元年産の管内平均収量は 75kg/10a ですが、収量の多い生産者では約 180kg/10a となり、差額は **27,805円/10a** となります。

このため、大豆は収量によって大きな収益性が見込めるため、①適期播種、②施肥、③病害虫防除といった管理が非常に重要となります。

大豆大粒1等の場合(品代10,140円)の試算



冠水被害とその対策

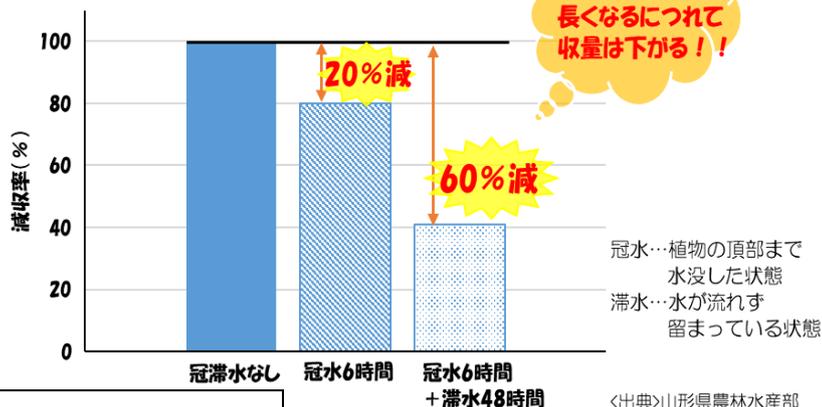
大豆は播種作業が降雨の影響を受けやすく、播種直後～生育初期に冠水状態が続くと苗立ち不良や後の生育にも大きく影響します。

麦刈り後は再度圃場の点検を行い、圃場を乾きやすさを維持し、**条件が整った日にすぐ播種できるよう準備**しておきましょう。

〈圃場の点検項目〉

麦跡の明渠は崩れていないか
明渠に雑草が茂ったり、ゴミがたまったりしていないか
排水口が詰まっていないか
圃場内の溝が周囲溝と連結されているか

大豆の滞水時間と被害歩合(減収率)



〈出典〉山形県農林水産部

令和3年産大豆では、①病害虫防除の徹底（本田防除2回以上）及び②その他技術（排水対策、土壌改良等）を実施した場合に、産地交付金の県枠として**5,000円/10a**が交付されます（上限額、予算都合で単価調整の可能性あり）。詳細は、桑名普及のホームページでご確認ください。